

フレッシュアップコミュニケーション

東京学芸大学附属竹早中学校同窓会
'08・5

2008年(平成20年)5月31日発行
〒112-0002 東京都文京区小石川4-2-1
東京学芸大学附属竹早中学校内
同窓会会長 古谷顯史郎

なれば幸いと存じます。
現況を伺いましたが、大
あり、学校運営も相当の
創竹会の支援無くして運
会としても、皆様からの
東京が、検討して行きたいと



七月五日(土)に総会
ご出席頂きますようお願い
リンピックの年でありま
ルギー、食料、水など、
益々不鮮明になり、国際
新会員を
動を行へ
潮目にさし掛っている様
経て、
昨年
に改正された教育基本法
十年の
会員の
卒業式
学の独立
合理化
営が難
ご意見
存じます
本年は
を開催
い申し
すが国内
政治、経済
化が進ん
にも思わ
一方、我

の皆様へ

会長 古谷顯史郎
ご意見
存じます
本年は
を開催
い申し
すが国内
政治、経済
化が進ん
にも思わ
一方、我

なれば幸いと存じます。
現況を伺いましたが、大
あり、学校運営も相当の
創竹会の支援無くして運
会としても、皆様からの
東京が、検討して行きたいと

20年度同窓会総会のお知らせ

- 日時 平成20年7月5日(土)午後1時半より受付開始
- 第一部 総会 午後2時00分から午後2時半まで
- 第二部 懇親会 午後2時半から午後4時まで
- 会場 竹早中・小1階 ランチルーム
- 会費 一般 2000円
大・高校生 1000円
- ご招待 現・旧教職員の方々
新会員59期生(平成20年卒)
- 総会担当幹事 第30期生(昭和54年卒)
- 次年度担当幹事 第31期生(昭和55年卒)
- 第30期・31期生の方々は、お誘いあわせの上、是非ご出席ください。
- ご出席・欠席を同封のはがきにて、6月20日までにご連絡ください。

は詰め込みには戻さず、「生きる力」育成の理念を継続し、公
教育の信頼回復、再生への方向性を示す再改正を行いました。
この事は、母校が長年教育目標として来た理念である、
1、自ら求め、考え、表現し、実践できる生徒を育てる
2、他人の立場や意志を尊重できる、視野の広い生徒を育てる
3、心身ともに明るくたくましい生徒を育てる
という真に「生きる力」を付ける教育と同義であり、我々の母
校の教育は日本の教育を先導して来たと言えると思います。現
役の中学生諸君には、将来の各界を担う人材に成長して頂きた
いと願っておりますが、その為にも我々母校の伝統ともいえる
「自由闊達」さを身に付けて、明るく、何事にも挑戦して頂き
たいと思います。

終わりに、先生方、並びに会員の皆様方にさらなるご支援、
ご鞭撻をお願い申し上げます、ご挨拶と致します。

クラス会、同期会等、

新任のご挨拶

学校長 山崎謙介



前任の校長、下條隆嗣教授の後を受け、この4月に新しく赴任し

てまいりました。これから3年間の任期ですが本校発展のために全力を投入したいと存じます。よろしくお願い申し上げます。私以外に鈴木雄治教諭（社会）、田中義久教諭（数学）、原 信一教諭（体育）、浦山浩史教諭（技術）が新任教諭として赴任されています。また事務室にも新任者、田中真人さん、小島澄恵さんが見えました。そして校長にとつて女房役ともいえるべく副校長も池田正雄先生が退任され、新しく西原口伸一先生が就任されました。教員組織も若干の変化があることを報告しなければなりません。新しく「主幹教諭」が設置され、勝岡幸雄教諭（理科）が任命されています。これまで、校長を助ける役として、副校長一人が激務をこなしていましたが、主幹教諭が一名加わることににより機動的な学校運営がなされるように配置されました。いわば「トロイカ方式」

であり、校長としては心強い限りです。

さて、本学の附属学校も大学の法人化に伴い、様々な試練が訪れつつあります。附属学校一般の存在理由はもちろん、本校の特徴をも踏まえ、あらためて本校の存在意義を確認したいと思えます。いまさら申すまでもなく、教員養成大学の附属学校は教育の理論と実践に関する研究の場であり、また、次世代の教員を育成することが大きな任務です。したがって、大学と附属学校は車の両輪のごとき役割を持つているのですから、互いを必要とすることは自明なことです。一方において公教育の役割も十分に果たすことも社会的任務であり、本校がその役割を十二分に果たしてきたことは、卒業生が我が国の様々な分野で活躍している事実を見れば異論のあるはずがありません。教育目標にも示されるように、自立的な人間、他人の立場を尊重し、視野の広い生徒を育て、心身ともに明るくたくましい生徒を育てるといふ、きわめて健全な教育指針は誇りを持って公言すべきことです。本校が伝統的に培ってきたこの教育は、いわば「社会のリーダー」を育てているのだと、あらためて同窓会の皆様とともにかみしめたいと存じます。

ご挨拶

副校長 西原口伸一



同窓会会員の皆様におかれましては、日頃より母校の教育活動に

多大なご理解をいただきますとともに、物心両面にわたって多大なご支援を賜り誠にありがとうございます。お陰様で部活動の設備など年々充実してきており、活動も活発に行われていることをまず、先にご報告させていただきます。

さて、前副校長の池田正雄先生の後を受け、このたび副校長に就任しました。フレッシュアップの紙面をお借りしてご挨拶させていただきます。私は、東京都昭島市にある公立中学校を経て昭和五十年に本校に赴任して参りました。当時の竹早の印象は鮮明に覚えております。まず、竹早の男女の仲の良さには大変な驚きを感じました。学級づくりも苦労することなく生徒と共に学校生活を楽しみながら過ごすことができました。また、優れた研究と実践を両立

されている先生方が大勢いらっしやることにも驚きました。個性的で情熱的な先生方の中で教育研究の仕方を学ぶことができ、私にとって竹早は最高の学びの場でした。

今年、2月16日に、竹早幼稚園・小学校・中学校が連携して公開研究会を開催しました。研究主題は「主体性を育む幼・小・中連携の教育」です。近年、一貫教育や連携教育がいたるところで研究・実践されておりますが、竹早団地の研究の特徴は、幼稚園から中学校卒業までの子どもたちの11年間の成長を観察し、成長には8のステップ（段階）があり、ステップを大きくくると4つのステージからなることを突き止めました。今回の公開研究会では、幼から小へ（第1ステージ）、小から中への接続期（第3ステージ）に焦点を絞って研究発表をいたしました。全国から八百人を超す参加者がありました。

本校は附属ですので、大学の研究に協力する・教育実習を受け入れる・普通教育を行う・地域との共同研究を行うといった4つの使命があります。これらの使命の他に、運動会や文化研究発表会、生徒会、校外学習などを通して子どもたちの健やかな成長をねがう教育を最も大切に

していききたいと願っております。

同窓会の皆様、今後とも母校である竹早中学校にあたたかい声援を送ってくださいませよう、よろしくお願ひ申し上げます。

退任のご挨拶

前校長 下條隆嗣

平成二〇年三月末をもちまして、四年間勤務致しました本校の校長職を退任致しました。私事で恐縮ですが、同時に東京学芸大学を定年退職致し、その後、一年間のみ特任教授として大学に残っております。

私は、国立大学の法人化元年に着任し、本校創立六十周年の年に離任致しました。この間、様々な事がありましたが、常に本校同窓会の暖かいご支援や激励に支えられていると感じておりました。改めて感謝申し上げます。

附属学校の使命は、高度な教育実践研究や教育実習の場として今後ますます高まると思えます。今後、このような実情のアップील活動も求められると思えます。最後になりましたが、本校の安寧と御発展並びに同窓会の皆様のご健康と御発展をお祈り申し上げます。

「光陰矢の如し」

前副校長 池田正雄

民間企業、公立学校を経て、縁あって竹早中学校に赴任したのが昭和五十一年（一九七六年）四月のこと。あれから早三十二年が過ぎ、まさに光陰矢の如しの感がします。竹早中学校は昨年創立六十周年を迎えましたが、偶然にも私の生まれた年と同じというのも何か不思議な縁があったような気がします。

さて、教員生活のほとんどを竹早中学校で過ごしたわけですが、英語教師としては、一人でも多くの生徒に英語が好きになってもらえるよう、スキットなどを中心にコミュニケーション能力の基礎基本を育成することをめざし英語教育に取り組んできました。また、最後の六年間は副校長として、これまでの恩返しの一つもり、微力ながら竹早中学校の支えとなるよう努めてまいりました。今、定年退職にあたり、数々の思い出が感謝の気持ちと共に走馬灯のように駆け巡っています。竹早中学校、並びに、同窓会の益々のご発展をお祈りいたします。お世話になりました。

「人生に必要なことは全て竹早で学んだ」

柴田俊和

どこかで聞いたことのあるようなタイトルですが、竹早中学校を辞めて1ヶ月過ぎたいま、実感としてこう思っています。講師の2年を含めて、大学卒業以来34年間ずっと竹早中学校で保健体育科の教師として勤めさせていただきました。途中で4回もアキレス腱を断裂したり、2年間大学院へ行ったりして、多くの方にご迷惑をおかけしましたが、良い経験をさせていただいたと感謝しています。

大学という新しい職場でやっていくのか心配していたのですが、竹早中学校という環境で学び、経験し、身に付けたことは、どこに行っても余裕を持って通用するものだと思えました。竹早で学んだということに自信に、これからも頑張りたいと思っています。

「退任挨拶」

佐々木棟明

竹中には二十七年間お世話になりました。まだ一月もたっていないのですが、何年も前にやめたような錯覚に陥ることもあります。今思い返すと、夢のような職場であったのではないかと思います。同僚はもちろんのこと、多くの生徒、そしてその保護者の皆様との出会いから多くのものを教えていただきました。それはこれからの私の人生に大きな財産となっていくことでしょう。竹中のますますの発展を祈念しております。

「退任にあたって」

中本信子

本年3月31日をもちまして、東京学芸大学附属竹早中学校を退職し、4月1日より筑波大学附属中学校に異動致しました。

在職期間は5年という短い期間でしたが、多くの経験を積むことができました。これはひとえに、皆様のご協力のゆえであると感じており、心より感謝しております。在任中の貴重な経験をもとに、これからも健康に留意し、努力して参りたいと思っております。本当に色々とお世話になりました。皆様に、心より御礼申し上げます。

竹早に通って

花崎真理

日々の忙しさに紛れて、久しく若かりし十代の頃を思い出すことはありませんでしたが、今回の同窓会の準備にあたり、同級生に再会する機会に恵まれ、懐かしい記憶が蘇ってきました。学生時代の同期会以来の友もいる中で一番の感想は「みな何と変わらないこと！」

さすがに竹中の制服を着るのは無理がありますが、あの頃の雰囲気のみな持ち続けしており、お陰でまるで昨日まで竹早中学に通っていたように会話がはずみました。

私は幼稚園から中学まで11年、竹早に通いました。

その中で「芸芸大学の附属」ならではの特色だと感じたのは教育実習の先生と帰国子女です。（帰国子女は中学でしたが）

正直なところ、教育実習の先生は小学校のときの思い出なのか、中学時代なのか、自分の記憶が定かではないのですが、黒板に大きな三重円を書かれて「これをじっと見て円がひとつに重なったときに勉強すると、集中力がとても高まる」と教えてくださった方を覚えています。

背が高く、素敵な先生だったこともあり、当時何年か真面目に実践していました。確かにじっと見ていると円がひとつに重なるのです。但し、私の勉学の集中力が高まったかどうかは定かではありません……

今でこそグローバル化が進み、海外に赴任することはさほど珍しいことではなく私の勤めるメーカーでは月に4〜5人がアジアやヨーロッパ、アメリカに赴任していきます。

しかし、私たちが中学の頃は「海外で暮らしていた」ことはまだまだ珍しい時代だ

ったのではないのでしょうか。

竹中に入學したとき、帰国子女一期生として入學してきた同級生は各クラスに数人いました。

最初、彼らに海外の空気を感じたのは、自分たちの住んでいた国を紹介するスピーチでした。

「戦争の国から来ました。」という友人の言葉は今でも鮮明に覚えています。

日々のニュースにも疎く「戦争」という言葉自体歴史の教科書でしか見聞きすることのない頃、実際に戦争をしているところに住んでいる人が同じクラスにいるなんて「戦争」を身近に感じたような、でも全く想像できないような、不思議な衝撃を受けました。

普段は日本語で話していても、気持ちが高ぶってくると、つい英語が出てしまう友人もいました。一瞬「おおっ」とは思うものの、さしたる違和感もなかったのは、帰国子女がクラス、学年の中でごく当たり前の存在だったからだと思います。

また、私には幼稚園と一緒に入園し、小学校を少しだけ一緒に通い、また中学で共に通えるようになった大切な幼馴染がいます。

彼女は12年の間に2回延べ9年海外に住んでいました。

幼かった頃、透き通るような青い便箋を使ってエメールを出す友人がいることは、私の小さな誇りでもありました。

大学の卒業旅行の時期と、ちょうど友人がその国に行っている（この両親は当時三度目の赴任中）時期とが運良く重なり、案内してもらえ幸運を得ました。

銀行の窓口で、係の人が私に「×□△×□△×□△」とまくして、わたしがぼかんとしていると友人がさっとやってきて同じ言語で「×□△×□△×□△」と言ってその場を収めてくれました。

どうやら窓口の係員が悪かったようなのですが、私にはちんぷんかんぷん。友人を尊敬の眼差しで仰ぎ見たことは言うまでもありません。

私の長男は今中学2年生です。この原稿を書きながら中学時代を振り返り、とても大切な時間を大切な仲間と過ごしていたことに改めて気づきました。

私が同級生から受けたような貴重な刺激を、息子や今学生真っ最中の同窓の方々も大いに受けていただきたいと思います。

僕の宝物

橋本（小林）正和

もう10年ほど前になるだろうか？ ある平日の午後、僕は営業で文京区音羽の得意先を訪ねたのだが、急なアポイントキャンセルを受けてしまい、次のアポイントまで1時間近く暇を持て余すことになった。会社に戻るには中途半端な時間だ。どうしようか音羽の風景を見ながら考えていると、ふと、竹早中学の帰り道、その辺りをあの娘と一緒に帰ったのを思い出した。「そうだ！ 久しぶりに竹中でも見に行こう！」

僕はそう思い、車を走らせ始めた。道が正確にわからないので、ちょっと迷いながら直進し、春日通りに左折で入る。左手には文京区役所が見えてきた。立て直したのか、昔とはちょっと変わった気がする。アクセルを踏み込み、長い坂道を一気に駆け上がり、富坂上の右カーブ、あっという間に伝通院を通り越す。「あと少しだ！」ここまで来て、なぜか昔の彼女に会うように心臓がドキドキしているのに気がついた。ところが、近づいてもあの懐かしい校舎は見えてこない。「あれ？ 竹中って春日通りから見えないんだっけ？」と思いつきながら、車を止め、外に出た。「そうじゃない！ 違う建物が見えてるんだ！ えっ、じゃあ竹中なくなっちゃったの？」僕は小石川4丁目のバス停前で呆然とした。早く通りの向こう側に行つて確かめたいのに、変わらぬ信号がもどかしい。ようやく、青に変わり、ダッシュで渡る。近づくと門に「学芸大学附属竹早中学校」の文字が見えた。「なーんだ、建て替えしたのか！ びっくりした！あれ？ でも、何で僕知らないんだろ（笑）？」と、一人で安心したり苦笑したりしていた。その時、校門の奥から男女7、8名の生徒がワイワイ話しながら出てきた。部活の帰りだろうか？ 変わっていない制服に安心して、なぜか少しだけ涙が出る。そして、昔の思い出が蘇ってきた……

「終わり、終わり、終わり」とたまに授業の最後に叫んでくれた西原口先生、胴上げした時に打った後頭部、大丈夫だったのかな？ 本当にお世話になりました柴田先

生、人数少なかったけど体操部は本当に楽しかったです。「○○するバカがいるんだよ！ やめようよ。」と叱ってくれた鳩先生、修学旅行のグラサン恐かったっス。ツンツン警報を出したら米山君に「つまんね」と言われて悲しそうにしていた川畑先生。カラスと呼ばれてた坪倉先生、って今思えば、どこが似てるんだ？ 黒板にカ一杯字を書いて、ズボン破ってましたね栗原先生、でも雪の校庭走るの辛かったです。「3年日組、天田と西谷、至急職員室に来るよー！」と呼出して校庭に立たせてた大橋先生、中原君のお○○○○なんて言ったことないですすね？ いつも優しくって江崎先生、「ごめんさい、もうやりません、許して下さい、の3つです」って言いすぎだろ増子君。

ネタ師として僕らをいつも笑わせてくれた山田君。「えー、名字が「尾」で名前が「丸」なんて珍しいわね」と友達のお母さんに言われたオマル井上君。「まさか、お前、自分が○○○○○○だと思ってるじゃねーだろーな？」って意味わからないけど、最高でした。西谷君、いつもカッコよかったね、麻生君。「ヨッ、アソキン」って呼んだの信田君だっけ？ 絶対バスで座らなかつた、もう一人の井上君。「森田君とカッブルとして選ばれるなら学級委員はやりません。」と真剣に言っていた柴田さん。アメフトで記憶を失った大越君。「サルなのよ」とって何なのよ、林原さん、でも面白かったよ。何故かエロ中と3年間呼ばれ続けた武中君。「燃えろ、カーサミの尻」って変な替え歌作ってごめんね、笠見さん。真冬でも「あちーよ」と窓を全開にして響きを買っていた米山君。「遠西のバカー」と言って、本気で殴られた篠塚君。NO・1ギター少年、鈴木君。運動会で沸き起こった「モリの父ちゃん」コールに本当にみんなの前に出てくるとは思わなかつたです、森田君のお父さん。可愛くて、大好きだった吉村さん。学校帰りによく行ったアーノルド。そして、卒業式の日、帰りたくなくて、いつまでもいつまでもみんなと遊んでいたね、あの校庭。

ハッと気づくともう行かなければならない時間だった。ほんの僅かな時間に溢れ出てきた懐かしい思い出の余韻に浸りながら、僕は車のエンジンをかけた。僕らが学んだ、あの校舎はもう存在しない。でも、竹中で過ごした3年間はいつまでもいつまでも消えない素敵な思い出だ。目を閉じれば浮かんでくる、眩しすぎるくらいの中学期代。本当に楽しかったよ、竹早中学校！そして素晴らしい仲間たち！ 僕に一生の宝物をくれてありがとう！

新任挨拶

―竹早中学校に赴任して―

田中 義久

赴任しておよそ一ヶ月が経過いたしました。歴史と伝統のあるこの竹早中学校で働くことができることに喜びを感じております。

赴任して驚かされることは、授業だけでなく校外学習や委員会活動において、生徒の自主性が重んじられ、多くの場面で生徒による運営がなされていることです。これは、生徒が主役になれるようにするための教師の陰の努力が大きいはずであり、また、附属の幼稚園、小学校から一貫した竹早の文化なのではないでしょうか。今後も様々な行事で生徒の自主的な活動がみられると思います。そうした活動を支えられるように、教師としての働きかけを常に意識し、実践していきたいと思っております。

本年度は、2年生の学年付きとして、また、2年生、3年生の数学担当教員として、精一杯頑張っていこうと思っております。さらに、竹早中学校における幼・小・中連携の教育研究にも努めたいと考えております。まだまだ手探りの状態ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

原 信一

本年度より、保健体育科教員として本校にお世話になります。どうぞ、よろしくお願いたします。前任校の附属大泉小学校で6

年生担任をしておりましたので、卒業生を出した同じ子供たちを預かるという春先から不思議で貴重な体験をさせていただきました。また、同時に歴史と伝統の竹早中学校に赴任した今、希望と興奮で胸がいっぱいです。子供たちと一緒に汗水垂らし、泣き・笑い、一緒に歩んでいきたいと思っております。

浦山 浩史

この四月から西原口先生の後任として着任した、技術科の浦山浩史です。東京都の公立学校に16年勤務し、新規採用されました。新たな気持ちで何事にも前向きに取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

さて、私の竹早中の第一印象は「挨拶ができる」生徒が多いということです。特に上級生になるほどしっかりと感じました。良き伝統として、これからも続けてほしいと思っております。

鈴木 雄治

今年度より竹早中学校にお世話になります。鈴木雄治です。同じ東京学芸大学の附属世田谷中学校から異動して参りました。教科は社会科で、今年度は1年生の担任と1年生の社会科の授業を担当しています。同じ附属の中学校とはいえ、学校によっていろいろと違うところも多く、まだまだわからないこと慣れないこともあります。初々しい1年生といっしょに、新たな気持ちで頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

平成19年度同窓会総会報告

平成19年7月7日(土)母校竹早中学校のランチルームにおいて同窓会総会・懇親会が執り行われました。例年通り、御歳45歳になる担当学年が(今回は昭和53年卒29期)、同窓会理事の皆様、幸いにして私も同期の現職赤萩先生の多大なご協力の下、準備から当日の進行までを務めさせていただきました。総会は、平成18年度事業報告および決算報告、平成19年度事業計画および予算案が承認され滞りなく終了。懇親会



では校長先生のご挨拶に始まり、29期担当学年先生方、創竹会、旧・現職の先生方の紹介と続き、その後は余興のマジックショーを新会員の高校生から諸先輩方、校長先生まで多くの皆様に楽しんでいただきました。場所を移しての同期会は翌早朝5次会まで続き、長い一日が終了いたしました。(29期中林加具子)

同窓会ホームページをご活用下さい。

<http://www.wakehaya-jhs.dousenkai.net/>



収入の部 (円)		支出の部 (円)	
I 前年度繰越	6,734,361	III 本年度支出	3,560,000
内訳		内訳	
定期預金	3,000,000	同窓会会報発行費(I)	1,900,000
普通預金	2,724,717	総会開催費	500,000
郵便貯金	786,495	常務理事会費	50,000
小口現金	223,149	総務費	80,000
		文書事務費	40,000
		郵便連絡費	130,000
		慶弔費	60,000
II 本年度収入	3,455,000	卒業記念品代	120,000
内訳		クラブ活動援助金	400,000
新入会員会費	1,650,000	名簿修正・追録費	80,000
同窓会活動支援寄付金	300,000	ホームページ作成・維持費	200,000
維持会費	1,000,000	差引残高	6,629,361
総会・懇親会会費	100,000	IV 次年度繰越	6,629,361
預金利息	5,000	内訳	
名簿売上	400,000	定期預金	3,000,000
		普通預金	1,000,000
		郵便貯金	2,000,000
		小口現金	629,361
合計	10,189,361	合計	10,189,361

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
I 前年度繰越	9,284,887	III 本年度支出	6,738,749
内訳		内訳	
定期預金	3,000,000	同窓会会報発行費(I)	2,100,000
普通預金	2,561,684	総会開催費	489,709
郵便貯金	3,630,096	常務理事会費	33,534
小口現金	93,107	総務費	71,800
		文書事務費	21,425
		郵便連絡費	227,590
		慶弔費	55,000
		60周年お祝い	100,000
II 本年度収入	4,188,223	卒業記念品代	111,500
内訳		クラブ活動援助金	400,000
新入会員会費	1,680,000	名簿作成費	2,890,482
同窓会活動支援寄付金	533,000	名簿修正・追録費	70,759
維持会費	1,281,700	ホームページ作成・維持費	166,950
総会・懇親会会費	120,000	差引残高	6,734,361
預金利息	11,023	IV 次年度繰越	6,734,361
名簿売上	562,500	内訳	
		定期預金	3,000,000
		普通預金	2,724,717
		郵便貯金	786,495
		小口現金	223,149
合計	13,473,110	合計	13,473,110

注：(I)送料を含む。

創竹会からの報告

創竹会会長 二瓶 好正

同窓会会員の皆様には平素より創竹会活動にご協力頂き、心より感謝申し上げます。本誌の紙上をお借り致しまして皆様へ創竹会の現況につきご報告申し上げます。

創竹会は皆様の母校竹早中学校の教育後援会として、平成13年1月に発足致しました。本会は、竹早中学校の在校生の保護者の皆様を正会員とし、同窓会の皆様や正会員OBならびに退職された竹早中学校の先生方等からなる賛助会員から構成されています。また、皆様ご承知の通り、創竹会では竹早中学校における教育研究を支援する目的で、会員の皆様の会費ならびにご寄付を頂き、その果実を奨学寄付金ならびに教育研究活動補助金として母校へ提供し、竹早中学校の運営に貢献してまいりました。創竹会設立以来の会計報告をまとめますと、創竹会は約5・8%の運営費により実質7年間でおよそ1億4600万円の寄付及び助成活動を行ってきたことが判ります。また、平成16年度より開始致しました空調設備の整備事業により、平成19年度時点で、2990万円の費用により、3学年12教室及び特別教室6教室の空調設備を整備致しました。この結果、あと特別教室7教室の整備を残すのみとなっております。尚、昨年来創竹会会計の信頼性を高めるための検討を行って参りましたが、今後は会計の専門家による会計監査を行う等、会計方式を改善することとしております。以

上、創竹会活動の概略をご報告致しましたが、ご了承頂きたくお願い申し上げます。創竹会は今後も、母校竹早中学校の教育・研究活動の一層の発展を願って皆様と共に活動をしたいと存じます。どうぞ皆様のご理解とご協力を頂きたく心よりお願い申し上げます。

お酒も横綱

松下 剛

竹早中に奉職した時、最初にお会いした先生が、当時教頭であられた久保孝二郎先生でした。風格から校長先生と思ひ、大変緊張したことを思い出します。

その頃、目白通りのある小料理屋に、今は亡き坪倉登先生と三人で入ったことがありました。秋田の銘酒を飲みながら、いっしょに談論風発、普段は静かなお二人が、口角あわを飛ばしながら、議論を始められました。それも、いかにも楽しそうにです。教科が異なるので、議論の味はさっぱり分かりませんでした。教育用語がときどき聞きとれましたので、数学教育についての議論だったのでしよう。お二人とも酔うほどに哲学的内容を話をされましたので、大変な学校に来てしまったなと思ったりしたものでした。

お酒の飲みっぷりでも横綱と大関と称されたお二人が、今、天国で差しつ差されつ、楽しく議論されているお姿を想像しています。久保先生のご冥福を、心からお祈りいたします。

名簿部より

■2007年版 名簿の販売について

①同窓会総会時に発行致します。

一冊2500円

②郵送で販売致します。

同封の振り込み用紙にて、お申し込み頂きます。

維持会費2000円+名簿購入費(送料込み)≒5000円

■名簿の訂正について

「竹早中学校同窓会個人情報に関するガイドライン」及び「竹早中学校同窓会個人情報保護基本方針」を遵守し、提供された同窓会委員のデジタルデータを年2回更新し、同期開催の必要に応じて各年次委員に提供しています。

書面にて反映されるのは2011年版の名簿からになります。次の場合に訂正を行っていますのでご連絡下さい。

①自分の住所の変更があった時

②2007年版 名簿に記載誤りがある時

③友人の空欄(消息不明)をお知らせいただける時

※ご本人が掲載拒否を希望されている場合は同窓会のみ管理となります。

連絡先…〒112-0002

東京都小石川4-2-1

東京芸術大学附属竹早中学校

同窓会名簿部 白石 英行宛

E-MAIL: bunkyo@mail.ne.jp

※同窓会名簿の最後に葉書を折り込みましたのでご利用下さい。

平成19年度同窓会活動状況

4月10日(火) 入学式出席 古谷会長・田

中副会長 祝い金1万円

5月26日(土) 親睦会

6月9日(月) 常務理事会①

7月7日(土) 総会 ランチルーム

9月22日(土) 常務理事会②

9月28日(金) 運動会 古谷会長他 祝い

金1万円

11月17日(土) 常務理事会③

12月1日(土) 臨時常務理事会

11月18日(日) 中3最終保護者会にて同窓

会入会説明 白石

1月26日(土) 新年会 総会担当幹事慰労

3月12日(水) 卒業式予行記念品贈呈式、

マグカップ贈呈 三島副会長・白江

3月13日(木) 卒業式 古谷会長・田中副

会長 祝い金1万円

3月29日(土) 常務理事会④

常務理事の募集

同窓会理事会は、常務理事の募集をして

おります。メンバーの固定化は、様々な面

での組織の硬直化につながり易く、自薦他

薦を問わず、いつでもご参加をお待ちして

おります。本フレッシュアップの編集も含

め色々な種類の業務があり、様々な年代、

職種の方々の語らにも楽しめますので、

ご興味のある方は、三嶋も含め理事会名簿

掲載の誰かに、コンタクトをお願い致しま

す。お待ちしております。(三嶋)

同窓会常務理事会名簿

顧問 二瓶 好正(7)

監事 高柳 良夫(3竹)

会長 古谷 顯史郎(13)

副会長 田中 元次(2竹)、三嶋 明(13)

総務部 高島 正子(7)、唐沢 俊樹(17)、

白江 千治(26)

広報部 小倉 昭彦(27)、田中 充(29)、

田上 睦深(33)

名簿部 花見喜久子(13)、白石 英行(31)

会計部 正野 敬子(19)、永井真知子(19)、

石黒由香里(26)

母校PTAの文化厚生部からのお願い

例年行われている制服等のリサイクルを左記の要領で行います。ご協力ください。

○現行の制服(男女共)、Yシャツ、ブラウス、ネクタイ、リボン、ベストなど。

○運動会(9/27)、同窓会総文研当日(11/7、8)も受け付けます。

運動会は下校庭へ行く階段下の回収箱を設置します。

○竹早中学校事務室宛の郵送・宅配でもお願い致します。

会計部より

同窓会維持会費をすでに複数年お納め頂いている方が多数いらっしゃいますが、事務処理上その方々にも会費納入書が一括して発送されてしまいます。誤って納入された場合には会計部までお申し出下さい。

維持会費・同窓会支援 寄付金、ご協力をお願い

同窓会経費は、入会金、維持会費、寄付金その他の収入金をもってこれにあてて(同窓会会則第22条)。19年度の支出は六七四万円、収入は四一九万円でした(19年度会計報告参照)。収入内訳は、入会金一六八万円、維持会費二二八万円、寄付金53万円、その他70万円でした。維持会費は、卒業後7年経過した社会人を対象にしています。維持会費は毎年2000円です。同封の払込取扱票をご利用下さい。払込人住所氏名欄の住所・氏名・卒業期の記入をお忘れなく。(毎年払込み下さい。)

編集後記

この真新しい「フレッシュアップ」を手にする時、感慨も深いものがあります。多くの方々に支えられ発行に至り、ほっと胸をなでおろしています。同時に、昨年までの編集のご苦勞を実感し、頭が下がる思いです。

私事で恐縮ですが、私達の二十七期は総会担当以来毎年同期会を行なっています。会えば三十年以上の歳月を越え、一瞬にしてタイムスリップしてしまいます。

願わくは、この「フレッシュアップ」が皆様のお手許に届く時、あたかもタイムカプセルを開ける瞬間のような懐かしさを感じますことになれば、編集担当者として望外の喜びです。(小倉)